

京都大学の環境・サステナビリティを考える 100 人会議

第一回（2015 年 12 月 18 日）のプログラム

18:05～18:15 主催者挨拶、本会議及び本回の狙いなどに関する説明（浅利）

18:15～18:45 各テーマグループ（リーダー）から各テーマに関する概要紹介（本学における実態、社会や他大学の先進事例、課題と可能性）

テーマ	発表担当者
【1】サステナブルキャンパスの概念及びアクションプランの方向性	磯部／浅利／安藤
【2】環境・持続可能性に配慮したキャンパス設備と運営・維持管理 （1）建物整備時における省エネルギー対策 （2）環境賦課金制度を活用した省エネルギー対策 （3）交通計画	小林／川那辺／平井／小西
【3】環境負荷低減・環境汚染防止に資するキャンパス、ライフスタイル （1）3R 対策、（2）節水対策、（3）購入、（4）食料 ⇒【3-1】3R、節水、購入、【3-2】食	矢野／大杉／佐川
【4】安全・健康・環境配慮型のキャンパス （1）キャンパスアメニティ・植栽、（2）キャンパスセイフティ、（3）ウェルビーイング、（4）化学物質管理	中川／東條／藤村
【5】環境・持続可能性に関する教育・研究の発展と参画、地域・国際連携 ⇒【5-1】教育・研究・地域連携、【5-2】新入生向け教材開発	吉積／浅利／宮澤

18:45～19:30 テーマ別グループでのブレインストーミング（アイデアの絞りだし）

- 自己紹介（ごく短く）、議論対象の確認
- 基本的な方向性や論点に関する議論
- 抜けている視点やアイデアはないか？

※取組やキーワードの優先順位や時間軸、ネットワーキングの可能性は主に次回に

※【5-2】班は全体の方向性を確認後、具体的な教材アイデアを議論

19:30～19:40 休憩（ファシリテーター&サブファシリテーターの方はまとめ整理）

19:40～20:00 テーマ別グループの成果を共有（各グループ4分）

- 概要説明（プレスト結果等を見ながら）
- 他のグループの方からのインプット（基本的には、全員記述式にて回収）

資料

- 1) プログラム、名簿
- 2) 全体説明&各テーマの概要紹介(PPT)
- 3) アクションプランに関する議論のたたき台
- 4) 他のグループへのインプット書き込み用紙

名札にキーワードの記載がない方は、名札の【 】の部分に、自分のキーワードや関心事項をお書きください。後日、名簿に入力します。修正したい方は書き直しておいて頂ければ、そちらで入力し直します。

机上資料(共有)

イェール大学及びハーバード大学のサステナビリティレポートなど、京都大学環境報告書 2015(要返却)、環境保全、新入生向け配布物例(エコ CODE)など